

問1 江戸時代に志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印や、3世紀の歴史書に記された卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かったという記述は、当時の日本と中国のどのような関係を示していますか。 （2021年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 中国の皇帝に臣下として礼を尽くすことで、自らの支配権の正統性を認めてもらう関係 | 2. 日本が中国の王朝に対して軍事的な圧力をかけ、金印や称号を無理やり奪い取った関係 | 3. 中国の皇帝が日本の優れた統治体制に学び、日本の王に中国の政治顧問を依頼した関係 | 4. 日本と中国が対等な立場での自由貿易を約束し、称号の交換を経済的な儀礼とした関係 |
|--|--|--|--|

問2 弥生時代に大陸から稲作が伝わると、収穫のための道具として磨製石器の一種が広く使われるようになりました。中央に2つの小さな穴が開いた半月形の形状をしており、稲の穂先のみを摘み取るために使用されたこの道具の名称を選びなさい。 （2024年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 石包丁 | 2. 鉄鎌 | 3. 磨製石斧 | 4. 尖頭器 |
|--------|-------|---------|--------|

問3 弥生時代の社会の変化について述べた文として、当時の集落のあり方や道具の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 （2024年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 集落の周りに堀や柵を巡らせ、薄くて硬い土器や鉄器・青銅器などの金属器を使用した。 | 2. 縄目の文様がある厚手で黒褐色の土器を使用し、主に狩りや採集を行って生活した。 | 3. 仏教の伝来とともに巨大な前方後円墳が造られ、集落の形が大きく変化した。 | 4. 竪穴住居が並ぶ大規模な集落が形成されたが、外敵を防ぐための堀などは作られなかった。 |
|---|---|--|--|

問4 弥生時代に作られた青銅器のうち、釣鐘のような形をしており、表面に流水などの幾何学模様が施されている祭祀の道具を何というか。 （2026年 新潟公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 銅鐸 | 2. 銅鏡 | 3. 銅剣 | 4. 石包丁 |
|-------|-------|-------|--------|

問5 弥生時代に大陸から日本列島へ伝わった金属器の特色について、銅鐸の性質をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2022年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 青銅器は、鉄器に比べて祭礼や儀式に用いられる傾向が強く、銅鐸もその一種であった | 2. 青銅器は、鉄器よりも硬く鋭いため、主に開墾用の農具や実戦用の武器として普及した | 3. 銅鐸に代表される青銅器は、古墳時代になってから初めて製作され、巨大な墓に副葬された | 4. 銅鐸は文字を記録するための道具として開発され、当時の律令制度を庶民に伝えるために使われた |
|--|--|--|---|

問6 鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。 （2016年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である | 2. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である | 3. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている | 4. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|

問7 当時の日本（倭）では多くの小国が分立して争いが続いていたことが中国の歴史書に記されています。このような状況下で、邪馬台国の卑弥呼が魏に使節を送り、皇帝との外交関係を築いた主な目的は何ですか。 （2019年 広島公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 魏の皇帝から倭王としての国際的な承認を得ることで、国内の他勢力に対して優位に立ち、支配を安定させるため | 2. 大陸で広く信仰されていた仏教を日本に導入することで、宗教の力によって国内の戦乱を鎮めるため | 3. 魏が定めていた律令などの法律や官僚制度を取り入れ、天皇を中心とする中央集権国家の仕組みを整えるため | 4. 魏の進んだ鉄器製造技術を独占することで軍力を高め、武力によって一気に日本列島を統一するため |
|--|--|--|--|

問8 福岡県の志賀島で発見された、金で作られた「漢委奴国王」の印（金印）が示している歴史的事実として適切なものを選んでください。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 倭の奴国の王が中国の漢（後漢）へ使いを送り、皇帝から王の地位を認められた。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から親魏倭王の称号と銅鏡を授けられた。 | 3. 聖徳太子が小野妹子を隋に派遣し、中国と対等な外交関係を築こうとした。 | 4. 日本が中国の進んだ制度を取り入れるために、多くの留学生を伴う遣唐使を派遣した。 |
|--|---|---------------------------------------|--|